

やとみ

議会だより

No.

6

2007年
8月15日発行

夏はやっぱり
プールでしょ！

7/19 プール遊び〈ひので保育所〉

平成19年6月定例会

発行 ● 弥富市議会

編集 ● 議会広報編集特別委員会

〒498-8501 愛知県弥富市前ヶ須町南本田335

☎ (0567) 65-1111 FAX (0567) 67-4011



▶保護者と一緒に七夕の短冊を付ける子どもたち
(ひので保育所)

6月定例会

6月定例会を1日から22日までの会期で開きました。

市長から19年度一般会計補正予算など5議案が提出され、原案通り可決しました。
一般質問には15人が登壇しました。

児童厚生施設条例の一部改正

児童クラブの利用料を減免するため、改正するものです。

質疑

質疑(浅井議員)

児童クラブ利用料の減免で、現在の利用世帯数と利用者数について、また改正により何世帯に影響が出て、利用料はどう変化するのか。

答弁(児童課長)

19年6月1日現在で世帯数は153世帯、登録児童数は165人、影響が出る世帯は21世帯で、本年度は約80万円の影響が出ると思

採決

討論なく全員賛成

19年度一般会計補正予算

子供食育委託料、妊婦健康診査委託料を含め3、171万5,000円を追加補正するものです。

質疑

質疑(浅井議員)

県は、あいち食育いきいきプランを策定し、食育に対する取り組みを行っているが、今回の補正予算の事業内容は、

答弁(教育課長)

主な内容

定例会の審議内容

議案質疑……………2～3

議員報酬等の状況……………4

一般質問(15人)……………5～19

やとみフラッシュ……………20

表紙の説明

7月19日、ひので保育所でプール遊びが行われました。初泳ぎとなったこの日、子どもたちは大はしゃぎで水遊びを楽しんでいました。



子どもたちに食に対する正しい知識と能力と態度を身に付けさせるため、食育の重要性を家庭や地域へ発信していくとともに、食に関する指導を進めていく事業で、複数の教員によるTT授業を実践し、生徒への食に対する意識調査、学校栄養職員による食に関する指導を行う。

用語解説

TT授業とは？

TTとはティームティーチングといって、2人以上の教師がティームを組んで子どもたちを指導し、個人差に個別に応じることができる授業です。

質疑（成電議員）

(1) かねてから要望していた妊婦健康診査が拡大され、その対象人数は何人か、時期はいつから実施になるのか、また県外での受診者も対象になるのか。

◀ 妊婦と乳児の母親との交流会 (子育て支援センター)



(2) この先さらなる回数の拡大の考えはあるか。

答弁（健康推進課長）

(1) 対象人数は388人で、開催時期は19年7月からの実施となり、県外での受診者は、補助金の形で対応する。

(2) 今後の検討になると思う。

質疑（安井議員）

(1) 7月から県は障害者自立支援法を後押しするため、ケアホームの事業者や授産施設の利用者に新たな助成

制度を設けるが、市の対応を尋ねる。

(2) 通所授産施設利用者に対する助成制度で、日額175円の補助金額の算定根拠を知りたい。

また対象者は何人か。

(3) 重い障害を持つ人や家族の通所負担は大変なもので、近い将来重度の人を受け入れる施設を市に造るか、それができなければ市が通所の支援をすべきではないか。

答弁（福祉課長）

(1) 県の市町村助成に合わせ、通所授産施設等利用者に対し助成を実施し、ケアホームおよびグループホームへの補助金は、事業完了後に実施する予定である。

(2) 福祉サービスを受ける方の利用者負担の区分（低所得者1）で社会福祉減免を受ける方は上限額が1カ月3、750円で、1カ月当たりの通所日数を22日で

計算し、175円を算定した。

また10人が対象となると予想している。

答弁（市長）

(3) 社会的な弱者に対する市側の見解としては、しっかりとこれから考えて、前向きな形で検討していきたい。

質疑（三宮議員）

(1) 身の丈にあった行財政運営は、その年度の収入の中でどれほど賄われ、そして借り入れや積み立ての取り崩しによって、どの程度の財源が賄われているかを、絶えず市民に明らかにして

いくことが、市長や行政の責任だと思いがいかか。

(2) 商工会や発展会で街路灯を整備し維持管理をしていたが、事業者が減って一部の人たちが電気代等を負担している。

市全体の防犯やいろいろな観点から検討して必要な助成をしようことが差し迫った問題だと思いがいかか。

答弁（市長）

(1) 予算に対する整合性を今後さらに努力をし、行政マンとして歳入歳出に対する予算も一生懸命勉強していく。

(2) 商工会の街路灯

の維持について、防犯灯と同様の効果が見込まれるので、規格規模等も考慮し、助成金の見直し等も検討していきたい。

採決

討論なく全員賛成



▶ 商工業者等が管理する街路灯

～市議会からのお知らせ～

議員報酬等の状況

■議員報酬等の状況(平成19年8月1日現在)

報酬月額	期末手当
議長 400,000円	6月期 1.6月分 12月期 1.7月分 計 3.3月分
副議長 325,000円	
議員(旧弥富町) 300,000円	
議員(旧十四山村) 231,000円	

※委員長手当の支給なし

費用弁償(日額旅費)	政務調査費
平成11年4月1日より廃止 ※旧十四山村は支給制度なし	支給制度なし

全国的に論議を呼ぶ、議会議員報酬と政務調査費制度。議員報酬の公平性や使途の明確化が、今日求められています。今月号は、議員の報酬、政務調査費や費用弁償(日額旅費)について説明します。



政務調査費とは

A 地方自治法の規定に基づき、議員の日常的な調査研究に必要な経費の一部を交付する目的で、地方自治体が条例で定めます。当市

調査費・日額旅費
の支給制度なし



日額旅費とは

A 地方自治法の規定に基づき、地方自治体が条例で定めます。費用弁償(日額旅費)とは、議員が本会議や委員会に出席した際、旅費として日額が支給されるものですが、当市では支給制度はありません。

では条例を定めておらず、支給しておりません。

9月定例会の開催日程(予定)

9月3日(月)～21日(金)
までの会期で開催予定です。

- 9月3日(月) 本会議(議案説明等)
- 9月7日(金) 本会議(議案質疑)
- 9月10日(月) 本会議(一般質問)
- 9月11日(火) 本会議(一般質問)
- 9月13日(木) 文教常任委員会
- 9月14日(金) 建設経済常任委員会
- 9月18日(火) 厚生常任委員会
- 9月19日(水) 総務常任委員会
- 9月21日(金) 本会議(委員長報告・討論・採決)

※日程は変更になる場合もありますのでご了承ください。

～ホームページがリニューアル～

市ホームページ内の「市議会のページ」をリニューアルしました。

議員名簿や定例会日程を始め、議会だよりと定例会会議録はダウンロードも可能になりました。ぜひご覧ください。

▼ホームページアドレス

<http://www.city.yatomi.aichi.jp/kurashi/gikai1.html>

浅井 葉子 議員



食育への考え方と 学校の取り組みは

問

食育に関連して、次の事項を尋ねる。

- (1) 成人病予防の考え方。
- (2) 学校での取り組み。
- (3) 弥富北中学校で行われる食育推進事業を今後、他校で進める考えはあるか。
- (4) 食物アレルギー体質の子どもへの対応。

食育は全年齢型の 対応を

答 市長

(1) 生活習慣病予防の一つとして食育は大きな要素があり、子どもだけでなくフルエイジ（全年齢）型の対応をしていかねばならない。

答 教育課長

(2) 家庭科や特別活動等で、栄養士も授業に入り学校全

体で指導。毎月の給食だより、給食試食会等、家庭での食育推進を促している。

(3) まず19年度については同校で実施する。

(4) 所見の入所時にアレルギーの有無を聞き、除去食を提供している。

申し出のある児童・生徒の保護者に、アレルギー物質の有無が分かる資料を提示し、内容によっては、除去、代替品を使用して給食を提供する場合もある。

外国籍住民の 就学状況は

問

外国籍住民への対応について聞く。

(1) 現在何人か。16歳未満の人数は。

(2) 就学状況は。

(3) 基目寺町のような日本語教室を計画する考えは。

(4) 江南市の外国人生活支援員設置業務と同様の取り組みを考えているか。

67人のうち、
33%が就学

答 市民課長

(1) 6月現在で1,384人、16歳未満は143人である。

答 教育課長

(2) 4月時点の該当者67人のうち、33%が市内の小・中学校に通学し、それ以外は四日市市等のブラジル人学校に通っていると思われる。

就学対象者には就学前の

健診案内、入学式前に就学通知を送付し就学を勧めている。今後は日本人同様に就学指導をしていかなければいけないと思う。

答 企画情報課長

(3) 企業等と連携を図りながら対応を考えていきたい。

総合案内窓口を 設置しては

問

(1) 役所に総合案内窓口を開設する考えはないか。

(2) 市民ホールへの階段で、手すりのない箇所は改善するののか。

市民に役立つ所が 市役所である

答 市長

(1) 市民のために役に立つ所が市役所であるので、そういった方向の中で検討していきたいと思う。

答 管財課長

(2) 一度に大勢の人が利用する。少しでも広く使いたいため設置を考えていない。

(4) 15年度に月1回のポルトガル語相談を実施し、年12人の利用であった経緯もあり、相談日の設定は考えていないが、個別相談には県国際交流協会を紹介している。

三 宮 十五郎 議員



予算と決算額の誤差を改善すべきではないか

問

税収を始めとする市の収支が年を追うごとに実態からかけ離れ、市の行政力・財政力が議会や市民だけでなく、職員にも分かりづらくなっている。

税収の予算案と決算額の差は、14年、15年当時は1%未満だったが、18年度は9.5%になり差が大きくなり始めている。

県は新年度の予算を立てる時点で、前年度の収支とほぼ決算と同じものが議会に示されている。県のようにするにはかなり訓練もいるし、時間もかかると思うが、それが基本という立場で予算を編成して、市民や市の幹部、職員そして議決機関である議会にも分かるようにすべきである。

可能な限り3月議会で当

初予算に市の一致した方針として、年度の収入全体を示し、今の状態を改善してもらいたい、いかがか。

今後は精査していききたい

答 市長

18年度予算において、合併以降で歳入計画について精査に欠けたと思う。

今後は、歳入は過去の実績や前年度決算を十分検討し、歳出も過大な見積りとならないよう精査していききたい。

予算の実態を無視した行革は改善を

問

17年度の行革時、区長報酬等の削減を行ったが、予算は5億円増え、結果的には約3億円の積立金等が増えた。そういう予算の実態を無視してやったことは、一日も早く改善すべきではないか。

公共施設の使用料等を早期に見直したい

答 市長

旧弥富町時代、14年度からの単年度決算3年連続赤字から、行革により黒字になったことは評価すべきと思う。

現在も扶助費や公債費等の義務的経費が増加傾向にあり、財政状態は決して樂觀を許さない状況にある。

行革について今後も進めなければならぬと強く認識している。ただし、住民サービスのの一環として、公共施設の使用料金等を早い時期に見直したいという考え方を持っている。

予算書等に根拠を記載すべきではないか

問

市の予算書、決算書は根拠の記載がなく、分かりにくい。県や尾張他市を参考にすべきではないか。

今後は検討して改善していききたい

答 市長

今後は検討して改善していききたい。

問

蟹江町は13年度から5年間で、ほとんど一般財源を使わずに補助金と起債で町内施設の耐震事業を行ったが、市でもよく研究してはどうか。

答 市長

小・中学校や保育所が最優先課題である。市庁舎については非常に危険視されており、よく検討しなければならぬと思う。

大 原 功 議員



東京都に倣って 低所得者を非課税に

問

- (1) 東京都が検討中の低所得者への都税の非課税制度を導入してはどうか。
- (2) 18年度市民税・国保税滞納額の計約6億円をどのように考えるか。
- (3) 入札制度改革を行うことで落札率が下がれば、その資金で低所得者等をサポートできるがどうか。

影響が大きいので
減免規定で対応したい

答 市長

- (1) 所得が200万円と同様に積算すると約1億8、233万円の減収になり、大きな影響があるので、現状は減免規定の中で対応したい。無税は考えていない。
- (2) 全体の約1.4%が滞納し

ており、国民の責任である納税義務をさらにお願いくていく状況である。

(3) 一般競争入札の拡大、総合評価競争入札要領の制定等、入札制度改革を近日中に開始していきたい。

市街化区域を拡大 する考えは

問

- (4) 市街化区域の拡大は。
- (5) 国保給付と老人保健医療費に約52億円かかっている。早く健康診断を受けることで医療費が少なくなると思うが、国保加入者全員を無料にしてはどうか。
- (6) 下水使用料金設定で、幹線からの接続工事が少なく済む集合住宅等は2部制にして安価にしたらどう

か。

また宅内工事が未施工（未接続）でも基本料は発生するか。

拡大は困難な状況 である

答 市長

- (4) 低未利用地が点在するため、拡大は困難な状況である。将来像を総合計画・都市計画マスタープランで反映していきたい。
 - (5) 受益者負担という考えもあり、無料は考えていない。できるだけ安い負担になるよう考慮していきたい。
 - (6) 流域下水は、平島、鎌島および操出の一部地区が22年度当初の供用開始に向けて順次整備中である。
- 使用料は、排水施設を設置し、下水道への接続が完了して使用開始すると、使用者から流す汚水量に応じで徴収する。また使用料とは別に受益者負担、いわゆる分担金が必要になる。

桜小学区再編の問題をどう考えるか

問

- (7) 「東平島地区を十四山西部小学校区に変更する」という桜小学区再編案は、平島地区の自治会運営の分離や子どもが交流しなくなる問題がある。約6、800人が住む平島地区に学校を新設すべきではないか。

簡単ではないが、一つの案として考えている

答 市長

- (7) 学区再編は簡単でないことも承知しているが、一つの方向として考えている。
- 学校新設は大変お金がかかる。もっと財政力を付けないと、簡単に進めるわけにはいかないと思う。

現在、料金の策定作業を行っており、近隣市町村の動向も見極め検討していく。

安井光子 議員



健診・予防接種を十四山保健センターでも実施を

問

(1) 合併後、乳幼児健診、予防接種が市保健センター1カ所となったが、十四山保健センターのこれからの方針は。

(2) 予防接種等を鍋田や佐古木地区も含め、十四山保健センターでも行っているか。

接種者が少なく採算性がとれない

答 健康推進課長

(1) 職員は2人配属し、健診受付時等は増員する。保健師を配置し、窓口業務以外の相談にも対応している。

(2) 接種者が少ないと採算性がとれない。全体での接種機会を多くしていきたい。



十四山保健センター（神戸地内）

(1) 十四山保健センターは設備も整っている上、駐車場も広い。両方が共立できる方法はないか。

(2) 十四山地区の支所、保健センター等の空室を活用し、児童館、子育て支援センターや図書館等造ってほしい住民の強い要望がある。

地区住民参加の公募による委員会等を立ち上げ、計画を作り、合意を得て決める。

ていくべきではないか。

答 市長

(1) 地域住民を中心とした委員会等を設置しながら市民の意見を聞き、いい方向で結論を出していきたいかなければならないと思う。

市民にはしかの感染者はいるか

問

(1) はしかについて、関東ほど流行していないが、津島保健所管内は名古屋市内に次いで多い。市の状況は。

(2) 医療機関における抗体検査、ワクチン接種は行える状況か。

(3) 補助金助成の考えは。

市民に感染者はいない

答 健康推進課長

(1) 市民に感染者はいない。

(2) ワクチンは全国的には品薄の傾向。重症化の恐れ

学校での戦争美化DVD上映を止めて

問

日本の侵略戦争を美化する日本青年会議所製作のアニメDVD「誇り」を、共産党弥富市議団が学校で使用しないよう申し入れたが、市および教育委員会への依頼の有無と、依頼があればどう対応するかを尋ねる。

上映依頼はない

答 教育長

現在、上映依頼はない。話があれば、県教委、近隣教委とも相談し、市教委に諮って決めていきたい。

高橋 和夫 議員



中心市街地の消火・救急 活動円滑化に道路拡幅を

問

中心市街地の消火・救急活動迅速化のために、道路拡幅と消火栓からの取水の円滑化を聞く。

生活の安心・安全のため、

消防の消火・救急活動整備も重要な課題である。1月の中六商店街の火災はまだ記憶に新しく、幾つかの問題点が明らかになった。

それは、道路が狭く、消防車の活動が制限されたこと、ＪＲ・近鉄線に挟まれる地域のため、消火栓からの取水が限定されたこと等が主な問題点である。

鉄道に挟まれた中心市街地は生活道路が狭く、消防・緊急車両の進入困難地域が多々ある。

その解決方法に長年の課題である駅前整備計画があるが、市長の考えを聞く。

困難な状況だが 総合計画に反映する

答 市長

駅前整備計画は、長い歳月をかけて皆さまで議論しているが、足かけ30年になるだろうと思う。大変難しいことが多々あるが、一つの考え方として再度整理をしたいと思う。

中六の道は、県道木曽峠・弥富停車場線である。この道路拡幅に対しては土地区画整理事業を行うことが最大の解決策になるかと思うが、これすらも大変困難な状況であることは承知の通りである。

しかし、総合計画にその都度反映をしながら、県に對しこの整備事業を要望し

ていきたいと思う。

ＪＲ・近鉄・名鉄線のレール下を配管して消火栓の取水をすることについては、鉄道の安全性からも非常に困難だと判断している。

国道1号からカーマホームセンター北側を通って、近鉄線の側道に至る市道に

消火栓を設置する件は、現在、50mmの塩化ビニール管が布設され、これを75mmに変更しないと消火栓としての機能が足らない。

変更について、十分海部南部水道企業団等と協議していきたいと思う。



▲中六商店街(鯛浦町地内)

原 沢 久 志 議員



桜小マンモス化問題の結論 はいつ出そうとしているのか

問

(1) 桜小学校のマンモス化は、どこが問題点なのか。
(2) 5月に学校整備検討協議会が地区関係者やPTAを含めて開催され、①東平島地区を十四山西部小校区に学区を変更、②平島地区に第2桜小学校を建設、の2案が提案されたが、今後の開催計画と、いつごろ結論を出そうと考えているか。

教室がほぼ満杯。 今年中には方向性を

答 教育長

(1) 教室がほぼ満杯状態で特別教室を普通教室化しても、後2年ほどでなくなる。
(2) 2回目は7月を予定。
今年中には何らかの方向性を見出していきたい。

学級数や費用面を 住民に明らかにせよ

問

(1) 西部小も空き教室はなく、校区変更は中学校区変更も伴い、小・中両校に増築費用もかかる。新設の場合も含め、増加学級数や費用面を住民に明らかにし検討すべきではないか。

(2) 合併同様に、市民の納得を得るやり方で進めてもらいたい。

(3) 協議会の傍聴、情報公開はどのように行つのか。

新設は数十億、学区 再編は数億と試算

答 市長



(1) 西部小は今年148人で、25年度には1学年18人と推測。将来、人間関係の固定化等も危惧している。
中学校区との関連は、まず桜小を優先して協議しなければならぬと思う。

第2桜小の建設には数十億、西部小へ学区再編した場合は、数億でクラス増設ができる試算している。

(2) 議員の考えを十分検討し、具体的なスケジュール表等も協議会で諮っていく。

答 教育長

(3) 誰を協議会に入れるかは関係者と相談しながら詰めていく。情報公開は進捗状況に応じて考えていく。

障害者控除認定書 交付の検討状況は

問

障害者控除対象者認定書の交付について、その後のように検討したか。

対象者を拡大した 要領を策定中

答 民生部長

身体障害者3～6級、知的障害者軽・中度に準ずる対象者まで幅を広げるよう現在、要領・基準の策定を進めており、できるだけ早く実施要領を示していく。

問

対象者への個別通知と5年間の遡及適用を行うか。

答 民生部長

広報等いろんな手段を使うつもりである。個別通知は津島市の手法を開き、よく検討して考えたい。遡及適用はしておらず、要領作成後からになる。

炭 竈 ふく代 議員



広告事業推進による財源確保を

問

(1) 広告事業推進による財源確保で、横浜市は広告収入と経費節減により約9、300万円の成果を出した。近隣市町村でも津島市、愛西市、七宝町等が広報紙へ有料広告を募っている。市においても広告事業に取り組むべきではないか。

(2) 広報以外の資産を活用してはどうか。

広報以外の回覧板やホームページで考えたい

答 市長

(1) 広報は一字でも多く情報を提供していきたいと思っており、広告を全く考えていない。

しかし、回覧板で一度考えるなり、また、ホームページ

ジ等も検討していきたいと思う。

(2) 市の資産についての広告収入は前向きに検討していきたい。

放課後子ども教室推進事業の実施を

問

(1) 19年度、国が予算化し取り組むことになった放課後子ども教室推進事業は、小1～6年全児童を対象に、放課後等に小学校余裕教室等を活用し学習支援や文化活動等、交流の場として総合的に取り組む事業である。かねてより、子どもを持つ保護者からも開設希望が寄せられているが、市の事業実施についての考えは。

(2) 担当部署の考えを聞く。

早い時期に実施できるように検討したい

答 市長

(1) 現在のところ、基本的に取り組みは考えていない。市においては放課後児童クラブを7小学校区で実施しており、今後は近隣市町村等の動向を

考えながら、学校とも調整を図り、早い時期に実施できるような検討していきたい。

答 教育部次長

(2) 本事業は、国では社会教育施設も考慮してよいと言っているが、原則、小学校の空き部屋が対象である。建設についての補助はないが、施設用品等が補助対象

象で100万円ほどである。

問

市に余裕教室はあるか。また、近隣の動向は。

答 教育部次長

空き教室はない。海部・尾張地区も19年度は検討している段階と聞いている。



▶さくら児童クラブで

おやつを食べる子どもたち

杉 浦 敏 議員



小・中学校、保育所の 耐震対策の進捗は

問

弥富地区の7小・中学校の耐震改修の進捗率は50%にとどまっている。また保育所は南部、桜等、ガラス飛散防止フィルムの張り付けが済んでいない所がたくさんある。

計画を明確にし、1日も早く耐震対策を完了させることが必要ではないか。

小・中学校は22年度
までに耐震工事を実施

答 教育部次長

19年度に桜・弥生小の北校舎の耐震補強設計を行い、20年度に補強工事を行う予定である。その他の学校は20年度までに設計を、22年度までに順次耐震補強工事を実施していきたい。

答 児童課長

いずれの保育所も14年に行った調査で耐震性を有するとの結果が出ている。ガラス飛散防止は18年度に避難経路の出入口付近を施工した。19年度も順次施工する予定である。



夜間運用拡大で 航空機騒音減少を

問

航空機騒音について、昼間の運用時間帯(23時まで)をもっと早く切り上げ、夜間運用にさせるよう18年3月議会で質問したが、その後の進展は。

夜間運用は市を迂回
するが進展していない

答 副市長

基本的には決定的なものが出ていない。23時からの夜間は基本的に海上旋回で市を飛行しないが、引き続き、国・県・空港会社呼び掛けて進めていきたい。

21時30分以降は、市を
迂回飛行できるのでは

問

18年3月の副市長の答弁で「21時30分頃まで飛来する航空機の数が多いので、海上旋回しての着陸は危険」と、空港会社の言い分

を聞いた。

調べたところ、旅客便は福岡発21時45分着便を最後に22時以降はなく、貨物便も22時台は週3便である。

実際は、21時30分以降は十分対応可能なのに、既成事実になれば、将来23時までひっきりなしに飛来する事態も想定される。

新聞等を見ても、2本目の滑走路・完全24時間化の検討等、航空需要の増加は確実だと見られている。どこかで一線を引き、もっと真剣に考えてはどうか。

海上旋回する形を強く
打ち出して考えたい

答 副市長

今後も、各関係機関に働きかける。夜間運用時間は全国的なもので変えられないが、少しでも時間を早め、海上旋回するような形を強く打ち出して考えていきたいと思う。

黒 宮 喜四美 議員



タウンミーティングを開催してはどうか

問

市長は施政方針で、市民による、市民のための市の創造を大きな柱として、市民の生活の安定と向上に取り組んでいくと述べた。

そこで、市民の声を直接聞く機会を設け、また市長の考え方を市民に理解してもらうタウンミーティングが必要だと思うが、19年度の開催を考えているか。

1月までには3カ所で開催したい

答 市長

まだ具体的な日程は考えていないが、1月までには少なくとも市内3カ所（十四山地区1、弥富地区2カ所）で市政懇談会をしていきたいと考えている。

小学校区単位に会場を増やす考えは

問

稲沢市は23小学校区で行っている。小学校区単位に会場を増やす考えはないか。

自治会単位のミニ集会を考えている

答 市長

タウンミーティングのほかに、自治会単位で積極的に市民と話す形のミニ集会を考えている。
これはもう少し頻度を増やして、要望があれば、または市が声をかけながら進めたい。

友引でも火葬は可能か

問

火葬場について、次の事項を聞く。

- (1) 休場日はいつか。
- (2) 火葬日数。
- (3) 休場日の変更の可否。
- (4) 知人は遺体保存が困難なことから、友引でも可能な蟹江町で火葬したが、町外者で使用料が高額になった。

将来的に、友引の火葬が必要になったとき、休場日を返上して火葬するという考えと解釈してよいのか。

答 環境課長

- (1) 休場日は火葬炉の修理・点検が必要であり、火葬場条例規則と告示により、友引と元日と定めている。
- (2) 18年度は176日、人数は265人。
- (3) 遺族からの申し出があり、かつ、やむを得ない理由で市長が認める場合、火葬の実施ができる。

市の施設利用が筋ではないかと思う

答 市長

- (4) 火葬が必要な事情はよく分かるので、市の施設を利用するのが筋ではないかと思う。

ただし、事前に話をもらわないと措置ができないので、大変難しい折り合いかもしれないが、そういった形の中で進めたい。



▶市営火葬場（鍋田町地内）

佐藤 高 清 議員



市街化拡大・調整区域のまちづくり方針を市民に示す考えは

問

3月議会の市街化拡大の質問に、市長は「地元から都市計画案を出してもらいたい、市と市民が一緒になつて考えたい」との方向性を示した。

答 市長

市街化の問題は大変難しいが、市の将来像に向けて全力投球しなければいけない。その形の中で、都市計画マスタープランを早急に皆さまでにたたき台として、市街化問題を貼り付けて提案していきたい。考え方としては次の通りである。

①人口集中地区、区画整理事業の隣地、そういうところをプランに入れていく。

②虫食い状態ではなく、大規模開発行為という形の中で区画整理のもとに産業振興地域をつくっていきたい。

③飛び地における市街化区域の設定を考えながら皆さまでに提案していく。

都市計画マスタープランを早急に提案していきたい

問

守るべき農地は守り、計画で示すと解釈してよいか。

答 市長

農業に対する大事さも重々承知している。新しく土地利用する時代になってきているのも事実である。そういった形の中で一度、計画を出したい。

浸水時に土の見える公園をつくる考えは

問

万が一、堤防が決壊した場合、避難場所は浸水などに対応できるか。浸水時に土の見える公園をつくっていく考えがあるか。

万が一、堤防が決壊した場合、避難場所は浸水などに対応できるか。浸水時に土の見える公園をつくっていく考えがあるか。

十四山と弥富地区に防災広場設置を検討

答 市長

海部郡には日光川水系の排水場所が150、そのうち市に22カ所あり、各市町村の排水を組織的に対応する連絡会議があり、一定水位が予想されると3時間前に連絡会議を調整している。

また日光川河口排水機は改修工事をし、毎秒100tの放水能力がある2基をパワーアップする。さらに1基追加を陳情している。避難場所は、鉄筋コンクリートづくりの2階建て以上としている。イオンタウンの駐車場やワイストアの屋上駐車場とも待避所として使う協定をし、市内各スーパードにも協定を申し込んでいるところである。

防災広場は、今後は十四山地区に1カ所、また、弥富地区への計画も前向きに検討していきたい。



▶大藤防災広場(寛延地内)

伊 藤 正 信 議員



国道1号と尾張大橋の改修状況は

問

次の改修状況等を尋ねる。
(1) 十四山（鍋平）地区まで改修された国道1号。
(2) 尾張大橋の地震対策。
(3) 国道沿線住民は、拡張の話から長年、生活設計すら厳しい。市民に正しく情報を伝えてほしい。

工事や橋の架け替えを陳情していく

答 市長

(1) その以西は止まっている状況である。
(2) 架け替えは国の予算が厳しいと聞いている。
(3)(4) 交通渋滞について市の要望として、これから

福祉バスで10時までの病院着便を

問

巡回福祉バスのダイヤ改正で、朝10時までに病院等に着くバスがないが再検討できるのか。また協議を今後、どのように行うのか。

改正後しばらく運行し再考していきたい

答 市長

一自治会一停留所の設置や病院利用の要望を聞いているが、改正後はしばらく運行し、それ以後、再考していきたい。木曽岬町のバ

農地・水・環境保全向上対策で循環型農業を

問

(1) 農地・水・環境保全向上対策は今、何件あるか。
(2) 有機栽培をすると奨励金がつくが、競馬場を活用した循環型農業を立ち上げたはどうか。

モデル実施地区を参考に今後検討したい

答 農政課長

(1) 調整区域で45集落あり、そこを14地区に分け、19年度から実施する。
(2) 化学肥料・農薬の5割以上の削減に対し、実質払的的な対応が出る。1地区がモデル的に実施しており、これを参考に、できれば集団的な取り扱いの中で今後、検討していきたい。

議会制民主主義とは一体何なのか

問

私は5月1日、区長とともに市長へ面会に行った際、市長は「あなたは議会で反対をされたからこの部屋から出ていってください」と私に言い、私と水野議員は現実に帰った。
議会制民主主義とは一体何なのかと思うが、どうか。

この場を借りて陳謝する

答 市長

同主義を尊重し、市民の代表である議員からいろいろなことを聞きながら市政に反映、実現していくことが私の責務である。
5月の件は、私自身が素直な気持ちで皆さまから学ぶという姿勢に欠け、迷惑をかけた。この場をかりて陳謝する。

立 松 新 治 議員



交通指導員の制服を見直してはどうか

問

(1) 年間50回以上の出勤で頑張っている交通指導員の予算を聞く。
(2) 古い制服の指導員もいると思う。市として心機一転、制服を調べてはどうか。

問

耕作放棄地削減と地球温暖化防止の一助のため、CO₂抑制に向けてバイオエタノール燃料の振興について聞く。

新調していきたい

答 防災安全課長

(1) 年間一人当たり4万円補助で、会員数49人、予算は196万円である。

答 市長

(2) 3種類の制服の内、通常(冬服)の制服に関して新調していきたい。

バイオ燃料の振興を

結果を見極め農地の有効活用を図る

答 農政課長

バイオ燃料は、県が策定した「あいち地球温暖化防止戦略」にも位置付けられ、県下約5万haの休耕田等へ燃料になる米の生産が検討され、研究チームにより開発等が実施されている。市では19年度、30aの水田でバイオ用玄米「はばたき」の試験は場を実施している。今後は結果を見極め、農地の有効活用を図るよう

努めたいと考える。



バイオ燃料試験ほ場(鍋田町地内)

問

60Wの白熱球を10Wの蛍光灯へ換えることで、5分の1に消費電力が削減できるが、CO₂対策の一つとして進めてはどうか。

答 環境課長

今後、市として機会があることに広報し、子どもたちの環境教育でも普及を図っていきたい。

防災対策として筏川右岸提整備を

問

鍋田地域の防災について、次の事業について尋ねる。
(1) 筏川に架かる樋門を含めた17橋梁の管理。
(2) 筏川右岸提は、土盛りで雑草やごみも多く、火災対策についても整備されていない。防災道路として整備すべきではないか。

ほ場整備に絡めて計画に盛り込む

答 市長

(1) 国・県の橋梁の耐震対策の実施や、市として19年度、筏大橋と海南橋の耐震対策を行い、残りの橋梁も調査を行い計画的に対策を進める。

堤防補強や樋門、水門の見直しは、総合計画や都市計画マスタープランに織り込んでいきたい。

(2) 中山～鍋田大橋区間は、基本的なほ場整備に絡めて道路整備の計画に盛り込まなければならないと思う。

村 井 邦 彦 議員



市民にどのような愛を感じているか

問

私は愛知は「愛」知恵」と理解し、愛は農業から学んだ。議員の役目は、市を大好きなまちにすること。「大好き」なことが発展するのではないかと思う。

市長は市民に対し、愛をどのように感じているか。

愛のキャッチボールを行政はやるべき

答 市長

職員の仕事に対する市民の理解、その愛のキャッチボールみたいなものを行政はやっていかなければならないと思っている。

給食で生野菜を食べさせているか

問

農業と食育について、人間は農業があつてみんな生きているが、給食で生野菜を食べさせているか。

生野菜は提供せず調理法を工夫

答 教育課長

平成8年の0157による食中毒事故以後、生野菜は提供せず、煮物等、調理法を工夫して提供している。

問

生野菜を食べさせないと食育にはならない。そういう菌の検査もして、将来的に生野菜を食べさせることができるのか。

答 教育課長

食中毒のことを考え、できたら家庭でとってほしい。

積極的に農業体験を勧めてはどうか

問

畑で野菜を作るなど、積極的に教育の場面でやれば、これが本当の食育につながると思うがどうか。

各校が総合学習等でやっている

答 教育課長

各学校の総合学習の時間で、米作から餅つき、サツ



▶十四山西部小児童による田植え体験

「市脳交笑」でまちづくりを

問

私は、市民が1番、知恵が2番、コミュニケーションして笑うにちなみ「市脳交笑(市農工商)」を考え、まちをどんどん明るくしたいと考えるが、どうか。

対話を重視した姿勢は同感

答 市長

市民との対話の中から、しっかりとしたまちづくりを皆さまとともにしていくという姿勢は変わらないので、「市脳交笑」という意味合いも結構かと思う。

マイモを作って給食で使用する等をしている。
農業体験は子ども的人格形成に大きな影響を及ぼす。今後も野菜・米づくり等をしていきたいと思う。



小坂井 実 議員

三ツ又池地区は誰がどのように管理するのか

問

三ツ又池公園は、21年の完成と聞いているが、誰がどのように管理するのか。

理費用の概算を聞く。

また合併前の十四山村に約1億円の基金があったが、この維持に使つか。

協議会で管理する

答 開発部長

管理については市と愛西市、孫宝土地改良区で三ツ又池管理協議会を17年12月に設立している。

年間約700万円と見積もっている

答 開発部長

公園内の草刈り、樹木剪定、清掃および光熱費等で約700万円が維持管理に必要と見積もっている。

県から移管後の維持管理費の概算は

問

園内のごみ・雑草管理は当然として、水面のごみ、水草の除去も大変である。県から引き渡し後の維持管

県に管理を任せることは考えているか

三ツ又池保全基金は19年3月末で約1億797万円。これは三ツ又池の保全経費の財源に充てる目的基金で、運用は毎年、基金を取り崩し維持管理に充てる。

問

今後の維持管理の難しさ、多額の経費を思うとき、海南こどもの国の附属公園として県に任せることは考えているか。

協議規定上できない

答 市長

県においてこの事業が完了後、市に譲渡されるが、事業目的から同国の附属公園とすることはできない協議規定になっている。ただ、同国との連携を図り、イベント開催等には十分活用していけるのではないかと考えている。

市有バスを団体に貸してはどうか

問

市に2台あるバスについて、各種団体に貸し出してはどうか。

今後も現在の取り扱いで運行したい

答 総務部長

バス管理規程の使用範囲に、市公務の使用、社会福祉法第1条の規定による市内の社会福祉団体の使用という規定があり、基本的にその範囲で運行している。多くの団体が利用すれば市公務への支障や、団体同士の競合等で迷惑をかけると思うので、今後も現在の取り扱いで運行したい。



◀三ツ又池地区
(子宝地内ほか)

佐藤 良行 議員



弥富中学校の新校舎建設に コストダウンを図ったか

問

私は17年3月議会で、中部国際空港建設時のコストダウンが16・3%と大幅になった主要点を話した。それを受けて市側は「今後の建設物件の参考にする」との回答をしたが、今回の弥中新築に対し、具体的にどのような検討をしたか。

プロポーザル方式と 一般競争入札を実施

答 教育長

プロポーザル方式により設計者の選定をし、コストダウンをどう行うかも選定の基準にした。
そして、入札方法を一般競争入札で実施する等、コストダウンも十分盛り込んだつもりである。

用語解説

プロポーザル方式とは？

高度な技術を要する業務等でプロポーザル（技術提案書）の提出を求め、企業や技術者の能力を評価し、コンサルタント等の委託者を特定します。

新校舎の特徴は

問

弥富北中建設時は斬新な形状が各方面から大変注目された。

弥中新築に際し、そのような検討がされたか。

後の維持費を考え ノーマルな形を選定

答 教育長

変形校舎は、後の維持管理まで考えると、非常に難しい面がある。いろいろ考えたが、結局はノーマルに近いものを選定した。

廊下幅は、標準の3mに對し、4.5mにした。中庭の下に雨水の貯留層を設け、トイレの洗浄水や植栽に利用することで、緑化・環境対策もしてある。

太陽光発電の追加 設置の再検討を

問

太陽光発電の設置を環境教育に役立てたら、子どもたちの意識が将来の地球温暖化防止の大きな要因になる。弥中に追加設置の再検討をしてはどうか。

費用対効果を考え 導入を見送った

答 市長

今からでも間に合うものは検討しながら、安全対策としてカメラ付きインターホン、校舎出入口に電気錠の設置を決定している。

太陽光発電は、費用対効果という形の中でもう一つ確信が得られず、今回は見送った。



▶建設の進む新弥富中学校
校舎（鎌島地内）

教えて！弥富の野菜

農家の人を招いた給食会が6月19日、白鳥小学校で行われました。同校では毎月19日を「地元野菜の日」と定め、市の野菜を給食に使用しています。

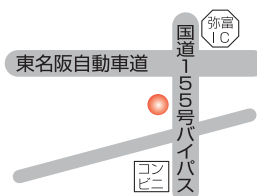
当日は食育の授業の後、地元産ナス、トマトを使った給食を3年生児童と一緒に味わいました。



弥富北交番が開設

国道155号バイパス沿いに完成した弥富北交番(荷之上町六十人461-2 ☎95-0110)の開所式が7月25日に行われました。

弥富北中学校区を管轄とし、毎日2人の警察官が常駐します。



親子でつくったよ

親子陶芸教室が7月25日、さくら会館で行われました。20組48人の親子が参加し、つぼや皿など、粘土を思い思いの形に仕上げていました。

出来上がった皿などは、市文化協会陶芸部員の手で「焼き」等の作業が施され、後日参加者に手渡されます。

